

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2018年12月21日

事業所名：フェローIntech

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			クールダウンが必要な場合は、同室内であるが人目に付きにくい場所を活用している。	22	5	1	5	身体を動かすには少し狭いが、その分公園等に連れ出してくれており工夫していると思う。(はい)	引き続き、スペースの活用方法や席順を考慮していく。
	2 職員の適切な配置	○				21	2	2	8	スタッフの人数も確保してよく関わって頂いている。(はい)	常勤職員に加え、アルバイトスタッフを配置していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備		○		情報伝達の為の絵カードなど、視覚的な掲示資料の作成に取り組んでいる。	24	2	0	7		要望に合わせて、随時対応していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			常に掃除を心掛け、風邪予防に手洗いうがいも励行している。	29	1	0	3	クールダウンできる空間(部屋)があればよかったと思う。(どちらともいえない)	毎日の事業所内清掃を継続して行っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			職員全員でのミーティングにて月次の振り返りと目標設定を行っている。	/	/	/	/	/	毎月の部署ミーティングを継続して行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○		不定期で社内アンケートの実施を行っている。	/	/	/	/	/	必要に応じて、外部評価を取り入れ活用していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			毎月二回の社内勉強会、毎年合宿研修に加え、随時確保している。	/	/	/	/	/	社内研修に限らず、外部主催の職能研修の機会も活用していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			子ども達本人や保護者とコミュニケーションを取りながら計画を作成している。	29	0	1	3		支援計画作成時の適切なアセスメントをより心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				31	0	1	1		引き続き個々に適した計画作成を心掛ける。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			本人の状況に合わせて、適宜相談しながら計画を作成している。	/	/	/	/	/	引き続き個々に適した計画作成を心掛ける。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標					
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見				
適切な支援の提供（ 続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○							29	0	0	4		引き続き適切な対応を心掛ける。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○			部署ミーティングや申し送りにて活動の方向性を決定している。									毎月の部署ミーティングを継続して行っていく。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施		○		提供する学習課題の幅を上げられるよう検討している最中。	27	1	0	5	基本的にパソコン使用のデイサービスですが、公園やイベント行事も取り入れていて非常にいい経験をさせていると思う。(はい) 他の事業所さんのような計画がないためいつも同じことをしているように思います。最近外遊びもなくなり、室内活動だけになっているので気になります。(わからない)				より活動内容や学習カリキュラムの質向上を図る為、検討を進めていく。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援		○											より活動内容や学習カリキュラムの質向上を図る為、検討を進めていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			毎日の申し送りにて確認を行っている。									引き続き、毎日の申し送りを徹底していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化		○		申し送りを適宜行っているが。振り返りと改善の質を向上させたい。									引き続き、毎日の申し送りを徹底していく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			支援記録、送り表、日報等で共有している。									引き続き適切な対応を心掛ける。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○												引き続き適切な対応を心掛ける。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○												引き続き適切な対応を心掛ける。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
との連携	2		○		該当者なし						該当者なし。	
関係機関との連携（続き）	3		○		該当者なし						該当者なし。	
	4		○								必要に応じて随時行う。	
	5		○								必要に応じて随時行う。	
	6		○								必要に応じて随時行う。	
	7			○			9	3	2	19	障がいの無い子供との交流がない方がいい。同じ学校の児童に会うので可能性のある場所は避けたいと思う。(わからない)	本人・保護者からの要望に応じて機会創出を検討していく。
	8		○			事業所にて開催しているイベント(夏祭り等)に地域の方にも参加して頂いている。						今後も地域貢献に繋がる事業運営を目指して、イベント時の交流など行っていく。
	保護者への説明責任	1		○		契約時に対応者より説明させて頂いている。	29	1	0	3		引き続き適切な対応を心掛ける。
2			○			26	4	0	3		引き続き適切な対応を心掛ける。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
連携支援	3		○		保護者勉強会を年二回開催。	14	4	6	9		年二回の保護者勉強会の質向上を図る。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			日々の活動の中での状況については連絡帳を活用し細かく共有。	21	8	2	2	よく理解している方とそうでない方の温度差があると思う。(はい)出来ていないことや困り事の情報も伝えて欲しい(どちらともいえない)	連絡帳での連絡はもちろん、送迎時やお電話等で細やかな情報共有・意見交換を心掛ける。
	5	○			連絡帳や電話時に相談を受けた際、管理者を中心に、個別に対応している。	14	10	2	7	個別対応として連絡を貰うことがあるが助言というほどの物はない。(どちらともいえない)	連絡帳での連絡はもちろん、送迎時やお電話等で細やかな情報共有・意見交換を心掛ける。
	6	○			保護者勉強会の際に、併せて懇親会も行っている。	18	4	0	11	連携の支援についてはよくわからない。仲の良い方と雑談ができる程度。(どちらともいえない)	年二回の保護者懇親会の質向上を図る。
	7	○			質問やご意見をを受けた際には、適宜内容を共有し対応している。	16	4	1	12	問題行動に対しよく対応して下さり感謝している。(はい)保護者にもスタッフ情報を周知して欲しい(どちらともいえない)	引き続き迅速な対応を心掛ける。事業所の職員情報の周知方法も検討していく。
	8	○				25	3	0	5	何かあったときに連絡が頂けることはとても助かっている。(はい)	引き続き適切な対応を心掛ける。
	9			○	事業所から会報など発行できていないので、イベント情報などから公開したい。	24	3	0	6	ホームページは写真だけなので、本人が話さないと分からないことも多い。(どちらともいえない)	SNS等も活用しながら、活動の発信や利用家庭への連絡を強化する。
	10	○			書類管理の徹底。SNSへの情報掲載可否も各家庭に確認している。	28	1	1	3		引き続き適切な対応を心掛ける。
非常時等	1		○		マニュアルの策定はできているが、周知徹底は行っていない。	12	7	4	10	確認する必要がある。(どちらともいえない)	今あるマニュアルの活用。情報を共有しやすい設置の仕方を検討する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
子の対応	2				避難訓練やDVD学習など毎年行っている。	9	6	2	16	行われているかどうか知ることがない。わからない。訓練したことを伝えて欲しい。(どちらともいえない)	引き続き訓練の実施。保護者様へ活動を周知できる広報の方法を検討する。
非常時等の対応(続き)	3				現在虐待防止委員会も設置し、より研修を強化していく予定。						社内で虐待防止委員会を設置し、職員向けに年6回の研修を実施予定。
	4				記載できていない。						必要に応じて、本人や保護者と協議を行い、了承を得る形で進めていく。
	5				主に契約時に本人情報として聞取りはあるが、それを元に対応の協議はできていない。						情報の確認の徹底。(特に食事提供のある活動の際)適切な対応を心掛ける。
	6				事例集の作成は行っていない。申し送りや日報での共有。						今後ヒヤリハットを記録・共有する仕組みを検討していく。